

高校総体での健闘誓う

京都西山・向陽 向日市役所訪問



高校総体出場を前に激励を受ける生徒ら
(向日市役所)

北部九州を中心に21日
から開催される全国
高校総体(インターハイ)に出場する向日市の京都西山高と向陽高の生徒らが市役所を訪れ、健闘を誓った。

出場するのは京都西山高がソフトボール部18人と少林寺拳法部3人、陸上競技部1人。

向日高が自転車競技部1人。
代表で訪れた生徒4人は、安田守市長と山本真也教育長に力強い抱負を述べ、一人一人、激励を受けた。

京都西山高ソフトボール部主将の3年森伊小夏さん(18)は「大阪府寝屋川市」は「初戦を突破し、全国制覇を目指して、どんな状況でも粘り強く泥くさくやっつけていきたい」、少林寺拳法部の3年田淵悠聖さん(17)は「宇治市木幡」は「1位を取って後輩につなげられる成績を残したい」、陸上競技部で投てきに出場する松元花さん(17)は「京都市南区」は「全国入賞できるように1投目から勝負したい。本番の強さを見せられるよう頑張る」と意気込んだ。

向陽高自転車競技部の2年松尾楽門さん(16)は「長岡京市馬場」は「自分の全力を出し切るよう頑張る」と力を込めた。
(今口規子)